




2019年度事業計画

2019年4月1日から2020年3月31日まで



特定非営利活動法人
近畿環境市民活動相互支援センター
(略称：NPO法人エコネット近畿)



2019年度 事業計画

もくじ

もくじ

事業期間 基本方針	2
1.情報の受発信・交流	3
・1-1 第15回 エコネット近畿情報交流会の開催	
・1-2 エコネット・カフェの開催	
・1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開	
・1-4 各展示会への出展	
2.団体・人材育成	5
・2-1 第15回 環境市民活動助成金セミナーの開催	
・2-2 資金調達に関するスキルアップセミナーの開催	
・2-3 マネジメントセミナーの開催	
・2-4 会員団体への会議室・備品の貸出	
3.コーディネート	9
・3-1 環境NPO、企業と行政の協働セミナーの開催	
・3-2 CSRのコーディネート	
4.コンサルティング	10
・4-1 個別相談への対応	
5.統一テーマ活動	11
・5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動への協力	
運営体制	12
・1 役員等の数	
・2 2019年度総会の開催	
・3 理事会の開催	
・4 運営会議の開催	
会員目標	13

2019年度 事業計画 事業期間 基本方針

事業期間 2019年 4月1日～2020年（2020） 3月31日

エコネット近畿は、環境の保全、生態系の維持や持続可能で豊かな社会の実現のため、中間支援組織の役割と考える「1.情報の受発信・交流」「2.団体・人材育成」「3.コーディネート」「4.コンサルティング」「5.統一テーマ活動」の5つのテーマに基づく事業を展開し、環境活動に取り組む主体（NPO、企業、行政）等への助言、支援に取り組んでいます。

2018年度は、2つの基幹事業のプログラム刷新の成果を検証するため、2017年度と同様のプログラムを実施し、結果としてほぼ同じかそれ以上の成果を上げることに成功しました。しかし、2018年度の目標であった①基幹事業と自主事業の相互補完、②参加者の意識変容やスキルアップの測定については改善の余地があり、③連携主体との関係性は深化させることができませんでした。

3ヵ年計画最終年の2019年度は、2つの基幹事業と中間支援組織として重要な個別相談業務を核に、継続して上記①②③の課題に取り組みます。

基幹事業1 エコネット近畿情報交流会を多様な主体の交流の場へ（情報の受発信・交流）

ネットワークの広がりや深まりの両面を目指し、さらに多様な主体から積極的な参加・発表を募ります。「ささやまミーティング」企画3年目として、目的である①学び合う場、連携のきっかけの提供②組織運営力の向上、個人のスキルアップ場の総括を行い、次期3ヵ年へと継承します。

基幹事業2 環境市民活動助成金セミナーでニーズ把握（団体・人材育成）

「環境市民活動助成金セミナー」と「資金調達に関するスキルアップセミナー」を通して、NPOと助成財団を取り巻く環境変化と、「助成金」のニーズと供給の実態の把握に努めます。最終的にNPOと助成財団の両者にとって魅力的で効果的な助成制度の提言にいたる土壌整備に繋がります。

個別相談業務（コンサルティング）

相談内容の集計データにもとづき、より多くの環境団体スタッフや、これから環境団体を立ち上げようとする個人、環境団体研究者等に対して検索、情報共有ができるよう仕組みづくりを検討します。

さらに、2019年度は3ヵ年計画の最終年として、3年間の総括を行うとともに、次期3ヵ年の計画を策定します。

2019年度 事業計画

1.情報の受発信・交流

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に関わる情報(提供・仲介)の受発信
- ・環境保全活動のネットワーク構築

1-1 第15回 エコネット近畿情報交流会の開催

- 【目的】①近畿の団体、個人が出会い、学び合う場、連携のきっかけを提供する。
②団体の組織運営力の強化、向上、個人のスキルアップを目指す。

【事業概要】地域の環境課題に取り組む活動団体に焦点を当て開催する。様々な団体、個人が分野立場、世代を超えて集い、自らの啓発と活動の発展のために、「持続可能な社会・なりわい・暮らし」という観点で活動を問い直し、語り合い、学び合い、連携するきっかけを提供する。また、参加者が「これからの社会を創る!」という思いを胸に、ミーティングに集い、ネットワークを構築し、活動の活性化につながる場を提供する。

- 【目標】・参加者100人(一般50人、会員30人、学生20人)
うち団体としての参加 80団体。
・会員獲得数 10団体・人。
・参加団体同士のマッチングをすすめ、連携事業が起ちあがる状態にする。
・参加者アンケートにおける効果測定の試行。
・多様な主体の参加を募ることを目標に、多様な主体から実行委員を招集する。
・自主事業との相互補完を図る。(SDGsを分科会テーマの1つとする)

【実施日時】2020年2月14日(金)~15日(土) 1泊2日(予定)

【実施場所】ユニットピアささやま(兵庫県篠山市)

【対象者】農、林、自然、環境、教育、地域づくり、福祉等の市民活動の実践者・運営者、企業行政等の担当者、大学等の研究者、学生

【参加費】一般12,000円、会員11,000円、学生8,000円

【内容】①事例紹介・全員ディスカッション
②活動紹介(参加団体/募集)
③情報交換・交流会、分科会
④ポスターセッション
⑤早朝オプションプログラム、ふりかえり

【主催】NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【共催】公益社団法人大阪自然環境保全協会

【企画・運営】エコネット近畿情報交流会実行委員会 2020

【後援】きんき環境館、大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県
関西SDGsプラットフォーム、近畿地方ESD推進センター

【協力】パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニットピアささやま
各地域の中間支援組織

【収入】1,489,976円(助成金、参加費)

【支出】1,399,156円(消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他)

【収支差額】90,820円

2019年度 事業計画

1.情報の受発信・交流

1-2 エコネット・カフェ（環境井戸端会議）の開催

- 【目的】①会員団体を中心に環境活動の発信の機会と場を提供する。
②興味関心のある分野の情報について他の団体と交流する場を提供する。

【事業概要】旬の環境課題をテーマに、参加者同士が交流する場を提供する。
2019年度のテーマは「SDGsをもっと身近に！」

- 【目標】・参加者数 15人×5回 合計75人。 ※研修室定員上限まで増席の予定あり
・会員獲得数 5人。

【実施日時】7月3日（水）、8月7日（水）、9月4日（水）、11月6日（水）、12月5日（木）
19：00～21：00 ※12月5日のみ21：30終了予定

【実施場所】大阪総合生涯学習センター（大阪駅前第2ビル5階） 第7、8研修室

【対象者】環境活動に取り組む団体、SDGsに関心のある方、環境に興味のある方

【参加費】500円/回

【内容】SDGsの基本的な情報を提供、多面的側面の気づきのためのミニレクチャー。
国際目標SDGsをテーマとするグループワーク、ガードゲーム。

<第1回>自然にやさしいお買い物～エコマークに注目！～

【講師】市川 晴子氏（天王寺動物園）

【内容】普段の買い物と自然環境の関わりを、環境認証マークを通して楽しく学ぶ。

<第2回>防災ゲーム～住みつづけられる街づくり～

【講師】平櫛 武氏（キタイ設計株式会社）

【内容】都市と人間の居住地を、平時から包摂的かつ安全で災害に強靱なまちへと変える。

<第3回>がちかんゲーム～環境をあそび×まなび=∞～

【講師】NaLab.（奈良女子大学）

【内容】「がちで環境問題を話して学び遊ぶゲーム」で環境をテーマに楽しく対話する。

<第4回>公害とSDGs～ロールプレイングゲームで学ぶ～

【講師】栗本 知子氏（あおぞら財団）

【内容】「公害対策」事例におけるSDGs達成をロールプレイングゲームで体感する。

<第5回>SDGsカードゲームで体験してみよう！

【講師】藤田 美保氏（箕面こどもの森学園）

【内容】まとめ。SDGs達成までの過程や達成後の環境・社会・経済の変化を体感する。

【収入】193,296円（助成金、参加費）

【支出】220,729円（消耗品費、印刷費、旅費交通費、他）

【収支差額】△27,433円

2019年度 事業計画

1.情報の受発信・交流

1-3 ホームページ、メールニュース、フェイスブック等による情報発信・公開

- 【目的】①行政、企業、研究機関、環境NPO間の情報発信・交流。
②多様な環境活動情報の発信により、環境啓発をはかる。
③会員団体の情報発信による活動支援。
④地域資源のリソースマッチング（人材、フィールド、資金等）。

【事業概要】環境NPO、行政、企業、研究機関、地域住民に対し、環境情報、イベント情報、助成金・補助金情報、ボランティア情報、会員のインタビュー記事等を配信。

【目標】情報の種類により、広報媒体やタイミングを変えたり、表示方法を工夫するなど「顧客」が求める情報を、活用しやすい形で発信する体制を整える。

- ・ホームページアクセス（閲覧者数）：2,300回／月 更新回数 1回／週
- ・メールニュース：月2回＋臨時号 25号 配信数1600部
- ・会員メール：会員がタイムリーに情報発信できるようメーリングリストを活用。
- ・ニュースレター：年2回（会員、協力施設へ配布）200部
- ・フェイスブック：700 いいね！

1-4 各展示会への出展

- 【目的】①活動の広報およびエコネット近畿のネットワーク拡大。
②環境活動の市民へのひろがりを目指す。

【事業概要】他団体が主催する環境や市民活動をテーマとしたイベントに出展、または会員団体の出展協力を行い、エコネット近畿や会員団体の活動の広報と市民との交流をもつ。

【出展数】 3ヶ所（予定）

2019年度 事業計画 2.団体・人材育成

- ・持続可能な社会の形成に向けた地域づくりを行うNPOに対し、活動支援となるセミナーを開催
- ・環境NPOや環境活動リーダー、運営スタッフのスキルアップ

2-1 第15回 環境市民活動助成金セミナーの開催

- 【目的】①環境活動団体が「助成金」をより効率的に活用できるよう情報を提供する。
②志を同じくする助成財団と環境活動団体のより良いパートナーマッチングを目指す。

【事業概要】環境に係る市民活動団体と理解ある助成財団との結びつける場として助成金セミナーを設け、中間支援活動として、個々の団体の組織基盤強化への取り組みを支援する。助成財団担当者へのヒアリングや参加者アンケートにより、セミナー終了後、参加者の助成申請率について追跡調査を実施する。
今年度はじめてセブン-イレブン記念財団と協定を締結する3つの中間支援組織であるきたネット（北海道）、地域の未来・志援センター（東海）、エコネット近畿で特にニーズの高かったプログラムを基に3団体共催で実施する。

- 【目標】
- ・参加者：50人。（一般35人、会員15人）
 - ・会員獲得数 8人。
 - ・参加者アンケートでセミナーの満足度をはかり、次年度事業に反映する。
 - ・参加者が助成申請に関する知識やスキルを身につけ、助成金を活用して事業を実施し地域社会に貢献される。（助成申請数10団体以上）
 - ・助成申請に関する相談の「場」として、相談件数が増える。（昨年10件程度）
 - ・今年度から開始される休眠預金活用制度についての情報提供、相談に備える。

【実施日時】2019年10月12日（土）10：00～16：00

【実施場所】ドーンセンター（大阪市）

【対象者】資金調達に関心のある環境NPO、任意団体、NPO支援に関わるスタッフ

【参加費】一般 1,000円、会員 500円
助成財団協賛金 10,000円/団体

- 【内容】①分科会「資金調達の新しい流れ」「助成申請書の書き方講座」
②助成制度説明会
③個別質問会
④助成財団の意見交換会

【協力】各地域の中間支援組織、ならびに助成財団

【参加助成財団数】全国：7団体、近畿圏：3団体（予定）

【主催】NPO法人エコネット近畿/一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【収入】402,500円（助成金、参加費、助成財団協賛金、他）

【支出】314,310円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】88,190円

2019年度 事業計画

2.団体・人材育成

2-2 資金調達に関するスキルアップセミナーの開催

- 【目的】①環境活動団体の資金調達力の向上を支援する。
②多様な資金調達方法についての情報を提供する。

【事業概要】助成金セミナーの補完事業として位置づけ、資金調達についての考え方と設計についての情報提供を通じ、NPOの運営に関わる人材の育成を行う。
特に新規事業の起ち上げを考えておられる団体など、個々の団体の成長プロセス（起ち上げ期、成長期、拡大期）や団体の規模、ニーズに合わせ、助成財団や金融機関から講師を招き、よりきめ細やかな支援を目指す。

- 【目標】・参加者 15人。（一般10人、会員5人）
・会員獲得数 2人。
・参加者が資金調達に関する知識やスキルを身につけ着手する。（5団体程度）
・資金調達に関する相談の「場」として、相談件数が増える。（昨年10件程度）
・NPO会計の相談を受け付ける。。

【実施日時】2019年9月 または、11月

【場所】エコネット近畿 事務所

【対象者】はじめて助成金申請をする方、これからNPO設立を考えている方

【参加者】一般 1000円、会員 500円

【内容】新規事業立案の際に必要な事業計画、目標設定、予算建てに基づき、団体に適した資金調達を設計する。

- ①事業計画の立案（短期、中・長期計画）
- ②事業計画に添った予算書の策定
- ③団体や事業に適した資金調達計画の策定

【協力】助成財団、金融機関など

【主催】NPO法人エコネット近畿

【収入】22,500円（参加費）

【支出】19,637円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】 2,863円

2019年度 事業計画 2.団体・人材育成

2-3 マネジメントセミナーの開催

- 【目的】①組織運営に関わる人材を育成する。
②近畿の環境団体の「組織運営力」向上による活動の活性化。

【事業概要】環境NPOが社会の変化に対応し、「事業計画」「人材育成」「ニーズ分析」「広報」「組織マネジメント」、「NPO会計」等のマネジメントのスキルアップをめざしていただくためのワークショップ、講座を開催し体系的に実践力を養う。

- 【目標】・参加者数 15人。
・会員獲得数 2人。
・セミナーを受講する前後での参加者のスキルアップの度合いの測定方法を確立する。

【実施日時】2019年6月（予定）

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【対象者】マネジメントに関わるスキルアップをめざす団体運営スタッフ

【参加費】1,000円

【内容】①共感力（会員・寄付拡大）②広報力（Web、SNSの活用）③ブランド力（事業成果・効果を評価し発信）など

【収入】15,000円（助成金、参加費）

【支出】14,637円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】 363円

2-4 会員団体への会議室・備品の貸出

【事業概要】会議室・備品の貸出などの支援により、定例活動の機会と場を提供する。

- 【目標】・会員特典のさらなる充実をはかり、顧客満足度を高め会員の継続率の向上を目指す。
・会議室貸出の際に、最新の環境情報を提供。

- 【収支】・ともになし。
・高額備品（プロジェクター）の貸出については、1回500円を徴収し、故障の際の修理や代替品の購入に充当（予定）。

2019年度 事業計画 3.コーディネート

- ・近畿で環境活動を行うNPO、企業、行政のネットワークの構築支援
- ・環境活動における地域間、分野間の協働推進
- ・環境活動資源交流（人、モノ、資金、情報、マネジメント、専門スキル）

3-1 環境NPO、企業と行政の協働セミナーの開催

- 【目的】①企業とNPO、行政の連携・協働事例から新しい協働のヒントを提供する。
②企業とNPO、行政の協働を考える場、出会いの場を提供する。

【事業概要】企業や行政、地域の方に、環境NPOの活動を認知して頂く機会として場を提供すると共に、潜在的な協働のニーズやウォンツを探る場とする。
協働の成功事例、失敗事例、主体の規模・分野別の事例紹介で、多様な参加を促す。

- 【目標】・参加者 30人。（一般20人、会員10人）、
・会員獲得数 4人。
参加者アンケート分析により、主体別の満足度や成果をはかり次年度事業に反映。
6年間で蓄積した多様な主体による協働促進のためのポイントを公開。

【実施日時】2020年1月（予定）

【実施場所】大阪産業創造館（予定）

【対象者】協働に関心のある企業、行政、環境NPO

- 【内容】①環境分野における、異なるセクター間の協働事例発表（多様な協働事例の提示）
②意見交換、ワークショップ

【収入】70,000円（助成金、参加費）

【支出】65,000円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】5,000円

3-2 CSRコーディネート

- 【目的】企業と環境NPOの協働を促進する。

【事業概要】環境活動を推進しようとする企業に対し、連携する環境NPOの紹介や環境活動へ助言や支援を行う。また、持続可能な環境活動のため地域資源の紹介やマッチングを行い、企業と環境NPOの交流をはかる。

- 【対象】環境NPOと協働を検討している企業のCSR担当者。
企業との協働を希望している環境NPOの団体スタッフ。

【目標】先進的な活動をされている企業、団体の見学。

【内容】2018年度「企業と環境NPOの協働セミナー」に参加された企業、NPOに対して、セミナー後の変化についてヒアリング。
近畿経済産業局に対して、CSRの動向をヒアリング。

2019年度 事業計画 4.コンサルティング

- 環境活動団体が抱える課題の抽出と解決策の提示
- 環境活動の活性化につながる情報発信

4-1 個別相談への対応

- 【目的】①環境NPOが抱える個別の課題に共に向き合い、解決への糸口を見出す。
②団体内の課題を解決することで、環境活動の活性化を促す。
③相談内容から共通課題を抽出する。

【事業概要】環境活動をしている団体、または、これから環境活動を始めたいと考える個人に対し、電話やメール、ファクス、来所にて随時相談を受け付ける。
また、各セクターが地域で環境活動を推進しようとする際に必要な情報を提供。

- 【目標】
- 個別相談内容の項目リストを完成させ、相談の傾向に即した事業を立案。
 - NPO設立や運営に関する相談に応じる。
 - 地域資源の掘りおこしとマッチングができる。（団体紹介、資源提供情報の発信）
 - 講師派遣のための環境団体のデータベース化。（会員団体より）
 - 環境活動団体、企業、行政が求める支援メニューと情報提供の体制を整える。
 - 顧客関係管理システムを導入し、個別相談の記録についてもデータベース化してよりニーズにそったセミナー開催、支援メニューの策定を目指す。

【収支】ともになし。

2019年度 事業計画 5.統一テーマ活動

- ・近畿の持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域や分野を越えて、個別団体の活動をつなげる

5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動

- 【目的】 ①環境啓発活動として地域と連携した一斉活動（一斉調査、一斉清掃等）を行う。
②NPO活動の「見える化」と「活性化」。

【事業概要】 「きれいな水辺でつながろう～びわ湖・淀川クリーンアップ」をキャッチフレーズに、NPO活動の「活性化」「見える化」を支援することで、広く市民に環境問題への気づきを広め、地域住民の生活環境の改善を図る。
地域で実施する一斉清掃に、ごみハサミの貸出や広報による協力を行ったり、Webサイト上に、クリーンアップ活動団体情報やイベント情報を掲載。

【目標】 団体情報の集約 12団体

【実施日時】 随時

【対象者】 近畿の河川流域で活動しているNPO/企業・行政・専門家および住民

【内容】 エコネット近畿のWebサイトへの情報掲載

【収入】 0円 （エコポイント寄付）

【支出】 95,000円 （消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】 ▲95,000円

※エコポイント寄附については、財務諸表の注記下段の用途制限のある寄附金を参照。

2019年度 事業計画

運営体制

- ・事務局業務のさらなる効率化、簡略化、企画・立案・提言力強化のため、事務局の招集により運営会議を随時開催。

1 役員等の数

- ・理事長 1人
- ・副理事長 3人
- ・理事 14人
- ・監事 2人

2 2019年度総会の開催

【実施日時】2019年 6月2日（日） 13：00～14：00

【実施場所】大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）4階 大会議室3

【対象者】エコネット近畿 正会員

【内容】審議事項

第1号議案	平成30年度	事業報告書	承認の件
第2号議案	平成30年度	活動計算書、監査報告	承認の件
第3号議案	2019年度	事業計画書	承認の件
第4号議案	2019年度	活動予算書	承認の件
第5号議案	2019年度	役員選任の件	
その他、連絡・報告事項			

3 理事会の開催

- ・2019年度の理事会の開催については、年4回以上とする。

【実施日時】2019年 6月2日（日）

【実施場所】大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）4階 大会議室3

【対象者】エコネット近畿 理事

【内容】理事長の互選

【実施日時】2019年 5月、7月、10月、12月、2020年2月を予定

【実施場所】エコネット近畿 事務所

4 運営会議の開催


- ・事業運営にかかわる事項について意見交換が必要な際に、事務局が召集・開催する。

2019年度事業計画

会員目標

会員目標

会 員（団体・人）		平成29年度 実績	平成30年度 実績	2019年度 計画
正 会 員	団 体	27	29	40
	個 人	43	43	51
	企 業	1	1	2
賛 助 会 員	団 体	18	22	26
	個 人	15	23	30
	企 業	0	0	1
会員数合計		104	118	150



NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北1-14 サンプラザ南森町401

TEL : 06-6881-1133

FAX : 06-6949-8288

E-mail : jimukyoku@econetkinki.org

URL : <http://econetkinki.org>